

文部科学省 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業

働くという社会との接続体験を通じて学び、
自立に向けた社会的生活を身につける生涯学習プログラムの開発と、
全国普及に向けたモデル化の実践研究

プログラム実施報告書



2020.3.10. NPO法人ピープルデザイン研究所

実施期間 : 2019年6月7日 - 2020年3月10日

実施自治体 : 川崎市

実施企画数 : 37 企画

※ 台風被害の影響により10月23日-11月17日の5企画と、
 コロナウイルス感染拡大の影響により2月29日-3月4日の
 5企画が中止。

就労体験参加人数 : 299 名

参加事業所 : 31 事業所

内訳

社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 KFJ多摩はなみずき
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス蒲田
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス関内
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス水道橋
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎駅前南
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス相模大野
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス立川
 社会福祉法人川崎聖福福祉会 社会復帰訓練所 移行支援事業所あやめ
 精神障がい者就労移行支援センター かわさき@Job
 川崎市高津区役所 地域みまもり支援センター保護課
 川崎市多摩区役所 地域みまもり支援センター保護課
 社会福祉法人電機神奈川福祉センター 中部就労援助センター
 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 れいんぼう川崎
 パーソルチャレンジ株式会社 就労移行支援ミラトレ川崎
 社会福祉法人 県央福祉会 川崎市百合丘就労援助センター

川崎市自立支援センター南幸町
 川崎市精神保健福祉センター
 社会福祉法人長尾福祉会 セルブきたかせ
 株式会社アストコ プライトむさし小杉
 川崎若者就労自立支援センター ブリュック
 NPO法人ホットスペース中原
 社会福祉法人 県央福祉会 川崎市わーくす川崎
 川崎市百合丘障害者センター
 社会福祉法人 育桜福祉会 わーくす高津
 株式会社Kaien Kaien川崎
 株式会社Cocorport Cocorport武蔵小杉office
 社会福祉法人 青い鳥 川崎市発達相談支援センター
 社会福祉法人 青い鳥 川崎南部就労援助センター
 川崎市生活自立・相談センター だいJOBセンター
 就労移行支援事業所ウエルビー 溝の口駅前センター

参加ボランティア : 述べ42名

参加企業 : 6社

内訳

株式会社川崎フロンターレ
 (Jリーグ 川崎フロンターレ)
 株式会社DeNADeNA川崎レイブサンダース
 (Bリーグ 川崎レイブサンダース)

パイオニア株式会社
 株式会社スティールストリート
 株式会社チャッタ エンタテイメント
 株式会社チャッタワークス

日付	タイトル	就労体験者
1	6月14日 川崎フロンターレ就労体験	8
2	7月7日 川崎フロンターレ就労体験	3
3	7月20日 川崎フロンターレ就労体験	9
4	7月27日 川崎フロンターレ就労体験	14
5	8月4日 川崎フロンターレ就労体験	2
6	8月24日 川崎フロンターレ就労体験	7
7	8月25日 かわバラ2019就労体験	10
8	9月14日 川崎フロンターレ就労体験	5
9	9月14日 BAYCAMP就労体験	22
10	9月15日 BAYCAMP就労体験	8
11	9月28日 川崎フロンターレ就労体験	14
12	9月29日 パイオニア就労体験	3
13	10月6日 川崎レイブサンダース就労体験	6
14	10月9日 川崎フロンターレ就労体験	4
15	10月16日 川崎レイブサンダース就労体験	16
16	10月23日 川崎レイブサンダース就労体験	14
17	10月27日 かわさきハロウィン就労体験	13
18	11月2日 川崎フロンターレ就労体験	7
19	11月9日 川崎レイブサンダース就労体験	13
20	11月10日 川崎レイブサンダース就労体験	12
21	11月30日 川崎フロンターレ就労体験	3
22	12月7日 川崎レイブサンダース就労体験	4
23	12月8日 川崎レイブサンダース就労体験	17
24	12月11日 川崎レイブサンダース就労体験	8
25	12月28日 川崎レイブサンダース就労体験	2
26	12月29日 川崎レイブサンダース就労体験	6
27	1月5日 川崎レイブサンダース就労体験	5
28	1月23日 ビーブルデザインシネマ2020就労体験	7
29	1月24日 川崎レイブサンダース就労体験	8
30	1月25日 身体で聴こう音楽会就労体験	6
31	1月25日 川崎レイブサンダース就労体験	12
32	1月31日 川崎レイブサンダース就労体験	8
33	2月1日 川崎レイブサンダース就労体験	4
34	2月15日 川崎レイブサンダース就労体験	3
35	2月16日 川崎フロンターレ就労体験	9
36	2月16日 川崎レイブサンダース就労体験	6
37	2月22日 川崎フロンターレ就労体験	1
2019年度 川崎市就労体験 参加者人数合計		299

< 実施プログラム「就労体験」のメディア露出 >

露出媒体換算額：約**1,722万円**

露出合計： **12メディア**

(内訳：新聞 3紙 (3社)、フリーマガジン・雑誌 2誌、書籍 1冊、テレビ 1番組、ラジオ 1番組、WEB 4サイト)

	日付	媒体名	種類	見出し	詳細・アドレス等
1	6月15日	読売新聞	新聞	広がる「シャレン」の輪 障害者らが就労体験 川崎	
2	6月15日	読売新聞 オンライン	WEB	広がる「シャレン」の輪 障害者らが就労体験 川崎	
3	7月5日	ハイスクールエイジを応援するフリーマガジン HIP	フリーマガジン	p12 “非日常の場”で就労体験	
4	7月14日	テレビ神奈川 カナフルTV	TV	ともに生きる社会がながわ	
5	7月21日	テレビ神奈川 カナフルTV	WEB	ともに生きる社会がながわ YOUTUBEチャンネル	https://www.youtube.com/watch?v=0Q5bY1byhdA&feature=youtu.be&fbclid=IwAR0CITWc8QNUKXgsGBSXk84XhE3MMBT6sJdW13dQ9V9b7EUXzA1wCQ
6	7月31日	令和元年度 障害者白書 (内閣府)	書籍	p57 第2章 社会参加へ向けた自立の基盤づくり 3. 社会的及び職業的自立の促進	
7	8月22日	日本経済新聞	新聞	人間発見 「福祉をカッコ良く」 障害者の就労拡大 短時間のお試しから	
8	8月22日	日本経済新聞 電子版	WEB	人間発見 「福祉をカッコ良く」 障害者の就労拡大 短時間のお試しから	https://www.nikkei.com/article/DGKKZ048848170S9A820C1EAC000/
9	10月26日	山陰中央新報	新聞	就労体験し働く喜びを	
10	10月27日	J-WAVE 81.3FM	ラジオ	「FUTURISM」 「ピープルデザインが目指す社会とは?！」	
11	10月27日	J-WAVE 81.3FM	WEB	「FUTURISM」 「ピープルデザインが目指す社会とは?！」	https://www.j-wave.co.jp/original/futurism/191027.html



8/22 日本経済新聞



7/5 ハイスクールエイジを応援するフリーマガジン HiP



7/14 テレビ神奈川「カナフルTV」



7/31 令和元年度 障害者白書



10/16山陰中央新報



2/1 社会教育



プログラム実施報告@川崎市

2019/6/7 – 2020/3/10

6月14日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、6月14日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもり、ホームレスの方々が述べ20人（利用者：13人、施設職員：7人）参加した。開場前に、スタジアム内の座席拭きを行い、開場後から試合開始前までは、募金活動の呼びかけや、新スタジアム側の4ヶ所のゴミ回収場所にて、他運営スタッフと共にゴミ回収のサポートを行った。

実施日：2019年6月14日(金)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：20人（利用者：13人、施設職員：7人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：2人

支給物：交通費（2,000円/人）、観戦チケット（自由席）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：8事業所

（川崎市南部就労援助センター、川崎市百合丘就労援助センター、ホッとスペース中原、川崎市多摩区役所 地域みまもり支援センター保護課、川崎若者就労自立支援センターブリュッケ、川崎市高津区役所 地域みまもり支援センター保護課、川崎市中部就労援助センター、LITALICOワークス川崎センター）

会場来場者数：22,609人

参加者感想

- ・色々な事を経験出来て良かった。（40代男性/身体・発達障害者）
- ・時間を空けて積み重ねることで、本人の「できること」「工夫が必要なこと」を分別することができた。（30代女性/施設職員）
- ・積極的に取り組む姿勢や効率的に進めようとする提案がみられた。（40代女性/施設職員）
- ・初めて会う方達と一緒に仕事をするという経験が乏しいため、緊張していた様子だったが、最後までやり遂げることができ、自信になったと思う。（50代男性/施設職員）
- ・通所事業所ではない分、できること、できないことが見えたことが大きい。（30代女性/施設職員）
- ・不特定多数の方に話しかけられる、反対に声をかけに行くといった場面があり、人と関わる良い機会になり、自信にもつながると感じた。開場時、一気に沢山のファンが入る場面でのチラシ配りはなかなか経験できないと思う。たくさんの人に圧倒される中、声をかけてチラシを配り終えたことは良い経験になったと思う。（50代男性/施設職員）



7月7日、20日、27日 川崎フロンターレ就労体験

J1リーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、7月は2日、20日、27日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもり、ホームレスの方々が述べ37人（利用者：26人、施設職員：11人）参加了。開場前に、スタジアム内の座席拭きを行い、開場後から試合開始前までは、新スタジアム側の4ヶ所の入り口にて、他運営スタッフと共にチラシ配布のサポートを行った。

実施日：2019年7月7日(日)、20日(土)、27日(土)
会場：等々力陸上競技場

参加人数：37人（利用者：26人、施設職員：11人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：1人
支給物：交通費（2,000円/人）、観戦チケット（自由席）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ
運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所
参加事業所：10事業所

（川崎市南部就労援助センター、川崎市百合丘就労援助センター、ホッとスペース中原、川崎市多摩区役所地域みまもりセンター 保護課、川崎若者就労自立支援センターブリュッケ、川崎市中部就労援助センター、川崎市精神保健福祉センター、就労移行支援事業所あやめ、川崎市高津区役所地域みまもりセンター 保護課、KFJ多摩はなみずき）

会場来場者数：約55,000人
（7/7 22,533人、7/20 10,000人以上、7/27 22,715人）

参加者感想

- ・笑顔で接客できることを目標に参加した。周囲との協調性が少しずつできていたと思った。楽しくお客様と関わることができてとても良かった。（40代男性/身体・発達障害者）
- ・就労体験に続けて参加することで、社会に出ることに自信が付き始めた。（40代男性/身体・発達障害者）
- ・あまり緊張しなくなった。（30代男性/ひきこもりの方）
- ・初対面の人と共同作業をする体験ができた。思っていたよりもコミュニケーションがとれていた。利用者さんの集団の中での様子を見ることができて良かった。（20代女性/施設職員）
- ・チラシ配りを通し、相手に合わせた対応をすることができていたと思う。流れの早い中で配布することも、大人の方が苦手であるとのことだったが、上手に対応できていた。初めての参加で、サポートだけでなく自ら楽しむこともできた。（20代女性/施設職員）



8月4日、24日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、8月は、4日、24日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもり、ホームレスの方が述べ 11人（利用者：9人、施設職員：2人）参加した。開場前に、スタジアム内の座席拭きを行い、開場後から試合開始前までは、新スタジアム側の4ヶ所のゴミ回収場所にて、他運営スタッフと共にゴミ回収のサポート、ブースの準備サポートなどを行った。

実施日：2019年8月4日（日）、24日（土）

会場：等々力陸上競技場

参加人数：11人（利用者：9人、施設職員：2人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：5人

支給物：交通費（2,000円/人）、観戦チケット（自由席）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：4事業所

（川崎市南部就労援助センター、川崎市多摩区役所地域まもりセンター 保護課、川崎市中部就労援助センター、川崎市精神保健福祉センター）

会場来場者数：47,205人（8/4 22,807人、8/24 24,398人）

参加者感想

- ・社会と少しでもいいのでつながっていたいから参加した。またやってみたい。（30代男性/精神障害者）
- ・積極的になった。（20代女性/知的障害者）
- ・サッカーが好きだから参加した。楽しめた。（20代男性/知的障害者）
- ・ちょっとした会話が大事と学んだ。（30代男性/ひきこもりの方）
- ・人混みに驚いてしまったが、また次も参加したい。（20代男性/知的障害者）
- ・お客さんに「ありがとうございます」と言われることで、誰かに働きかけることの大切さと、楽しさに気づくことができたかと思う。（20代女性/施設職員）
- ・人との関わりが少ない生活を送っている方が多いため、たくさんの人たちに関わるだけでも多くの学びがあると感じた。（40代女性/施設職員）



8月25日 かわバラ2019 就労体験

かわさきパラムーブメント（注1）の取組を楽しみながら親しんでいただくために開催されたイベント「かわバラ2019」にて就労体験を実施。
ラゾーナ川崎プラザ ルーファ広場にて、8月25日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもり、ホームレスの方が述べ16人（利用者：10人、施設職員：6人）参加した。イベント中は運営スタッフとして、うちわの配布や会場のご案内を行った。

実施日：2019年8月25日（日）

会場：ラゾーナ川崎プラザ ルーファ広場

参加人数：16人（利用者：10人、施設職員：6人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：2人

支給物：交通費（2,000円/人）、スタッフTシャツ、昼食（お弁当、飲み物）

<関連団体>

イベント主催者：川崎市 / 共催：三井不動産株式会社

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：6事業所

（ホッとスペース中原、川崎市百合丘就労援助センター、就労移行支援事業所あやめ、KFJ多摩はなみずき、就労移行支援事業所ウェルビー溝の口駅前センター、川崎市南部就労援助センター）

会場来場者数：60,000人

参加者感想

- ・ いくつか一般就労してみたいと思うようになった。（30代男性/知的障害者）
- ・ 知らないことばかりで圧倒された。人との関わりの大切さを学んだ。（40代男性/精神障害者）
- ・ 色々な事にチャレンジすることに自分自身で自信がついた。（40代男性/精神障害者）
- ・ 事業所以外の場所で、他のご利用者と一緒に働いてみてほしかったので参加を促した。一般のお客様を対象にする緊張感、責任感、自分よりレベルの高い方と一緒に働く事で自分の課題を感じられたように思う。外で働く緊張感をご本人をとっても成長させると思う。（30代女性/施設職員）
- ・ 慣れていない場所で不特定多数を相手にお仕事をすることで、こういうこともできるんだ、と自分に対しての新しい発見がご利用者さんの中であつたようだった。（40代男性/施設職員）
- ・ 来場者の方へのアンケートのお願いの時に、はじめは誰に？どんなタイミングで？声をかけていいか全くわからなかったが、支援者のサポートを受け、だんだんと自分で「あの人記入してくれそう」と言いながら、近づくことができたことが本人の自信につながったと思う。（20代女性/施設職員）



（注1）かわさきパラムーブメント
川崎市では、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として、ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（さまざまな人が自分らしく社会の中に混ざり合えること）の象徴としてパラリンピックに重点を置き、障害のある人などが生き生きと暮らす上での障壁となっている、私たちの意識や社会環境のバリアを取り除くことや新しい技術でさまざまな課題に立ち向かう運動、ムーブメントを「かわさきパラムーブメント」と位置づけ、誰もが暮らしやすいまちを目指して、さまざまな取組を進めています。

9月14日、15日 BAYCAMP就労体験

川崎市の東扇島東公園で行われたオールナイトの野外ロックフェス「BAYCAMP」にて、ロックファンをおもてなす「就労体験」を9月14、15日に実施。当日は、同市内精神・知的障害者の方々、ひきこもりのの方々、述べ45人（利用者：30人、施設職員他：15人）が参加。

就労体験者は会場内4ヶ所のクリーンブースにて、ゴミ回収のサポートを行った。

実施日：2019年9月14日(土)、15日(日)

会場：東扇島東公園

参加人数：45人（利用者：30人、施設職員他：15人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：10人

支給物：交通費（2,000円/人）、スタッフTシャツ、昼食（お弁当、飲み物）、終了後のフェスチケット

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社スティールストリート

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：8事業所

（就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎・川崎駅前南・蒲田・関内・立川・相模大野・水道橋、川崎市南部就労援助センター）

会場来場者数：約20,000人



9月14、28日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、9月14日、28日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもり、ホームレスの方々が述べ25人（利用者：19人、施設職員：6人）参加した。開場前に、スタジアム内の座席拭きを行い、開場後から試合開始前までは、新スタジアム側の4ヶ所のゴミ回収場所にて、他運営スタッフと共にゴミ回収のサポートを行った。

実施日：2019年9月14日(日)、28日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：25人（利用者：19人、施設職員：6人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：5人

支給物：交通費（2,000円/人）、観戦チケット（自由席）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

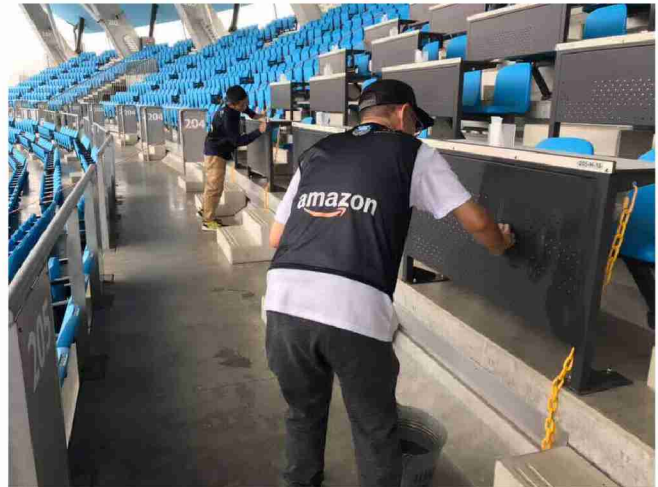
参加事業所：7事業所

（ホッとスペース中原、川崎市多摩区役所地域みまもりセンター 保護課、川崎市精神保健福祉センター、川崎市百合丘就労援助センター、川崎市南部就労援助センター、川崎市中部就労援助センター、就労支援移行事業所あやめ）

会場来場者数：45,494人（9/14 22,571人、9/28 22,923人）

参加者感想

- ・お仕事以外にも、周りとの連携の大切さを学んだ。就労体験に参加して、人とのコミュニケーションが増えてきていると感じる。（40代女性/身体・発達障害者）
- ・体力をつけることの大切さを学んだ。（50代男性/精神障害者）
- ・あいさつなどをして元気をもらった。（40代女性/精神障害者）
- ・他のグループが他の作業に行っている間に、その場所をフォローすることを学んだ。（40代男性/精神障害者）
- ・チームワークの大切さを深く感じた。チャレンジ精神が色々な面で身についたと思う。また参加できるイベントがあれば参加したい。（40代女性/精神障害者）
- ・社会に出ること、働くということが実感できたように思う。（40代男性/施設職員）
- ・お客様に自分から声をかける、大声で呼びかけるなどの躊躇しやすい事を思い切ってきた事は自信になったと思う。ヒッチまで降りる事ができ、臨場感ある場面が観られた事がよかった。（30代男性/施設職員）
- ・自信をつけるきっかけになると思う。楽しく人と関わる事を学べたと思う。（30代女性/施設職員）



9月29日 第249回 身体で聴こう音楽会 就労体験

川崎市国際交流センターにて開催された、パイオニア株式会社主催「第249回 身体で聴こう音楽会」にて、就労体験を実施。「身体で聴こう音楽会」 (<http://pioneer.jp/.../society/cont.../music/karadadekikou/about/>) は、聴覚に障害をお持ちの方の「音楽体験の場」として、その方々に音を振動で伝えるパイオニア様の“体感音響システム”を使ったコンサート。1972年からスタートし、累計開催回数は今回で249回目。このイベントに同市内精神障害者の「就労体験」をコーディネートし、述べ4人（利用者：3人、施設職員：1人）の方々が参加した。開場前には、パイオニア株式会社のスタッフの方々と共に、体感音響システムの設置、受付のプログラムのセッティングを行った。開場後は、受付でお客様をお出迎えし、プログラムを配布。会場内では体験音響システムのご案内を行った。

実施日：2019年9月29日（日）

会場：川崎市国際交流センター

参加人数：4人（利用者：3人、施設職員：1人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）、昼食（お弁当、飲み物）

<関連団体>

業務依頼企業：パイオニア株式会社

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：3事業所

（ホッとスペース中原、川崎市百合丘就労援助センター、NPO法人ピープルデザイン研究所）

会場来場者数：200人

参加者感想

- ・とにかく経験する、工夫することが大事と思った。参加してよかった。（40代女性/精神障害者）
- ・搬入、会場設営、接客、案内誘導など短時間ながら色々な業務を経験することができた。（30代女性/施設職員）



10月9日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、10月9日に実施。市内の精神・知的障害者の方々が述べ5人（利用者：4人、施設職員：1人）参加した。開場前に、スタジアム内の座席拭きを行い、開場後から試合開始前までは、新スタジアム側の4ヶ所のゴミ回収場所にて、他運営スタッフと共にゴミ回収のサポートを行った。

実施日：2019年10月9日（水）

会場：等々力陸上競技場

参加人数：5人（利用者：4人、施設職員：1人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：1人

支給物：交通費（2,000円/人）、観戦チケット（自由席）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

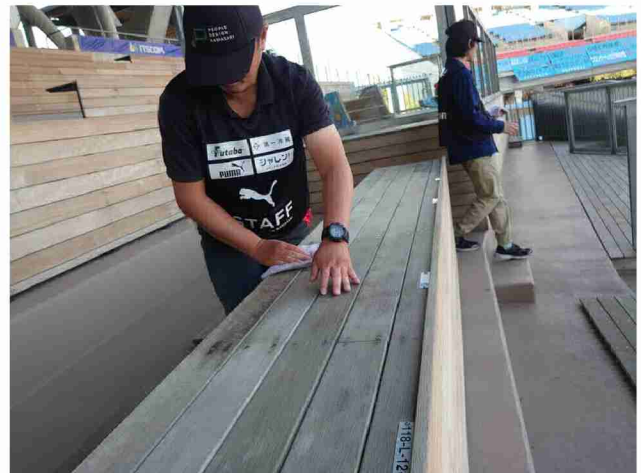
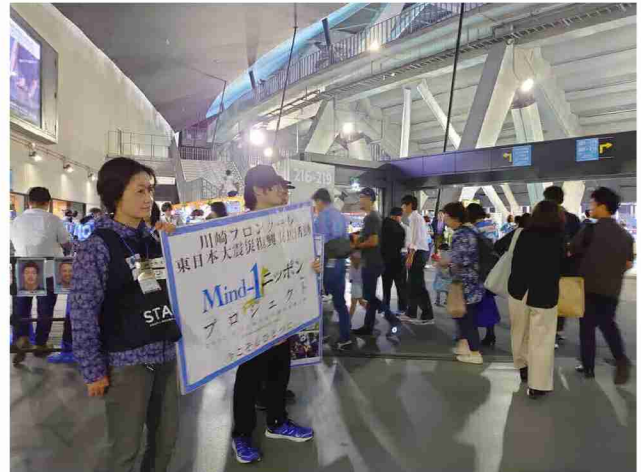
参加事業所：2事業所

（ホッとスペース中原、高津区役所地域まもりセンター保護課）

会場来場者数：18,412人

参加者感想

・障害のある人とのコミュニケーションを特に取りたいと思って参加した。人とのコミュニケーションを取る大切さや、お客さんとの対応の取り方をもっと学ぶべきだと思った。今回、初めての就労体験で、緊張もあり、パタパタすることもあったが、こういうのも経験だと思い、これからの就職に活かしたいと思う。（40代男性/ホームレスの方）



10月6日、16日、23日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、10月は、6日、16日、23日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。

今回は同市内精神・知的障害者の方々、引きこもりのの方々、ホームレスの方々の述べ47人（利用者：36人、施設職員：11人）が参加し、競技場にて、プログラムや応援グッズの配布準備、会場設営のお仕事などを担って頂いた。

実施日：2019年10月6日(日)、16日(水)、23日(水)

会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：47人（利用者：36人、施設職員：11人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：1人

支給物：交通費（2,000円/人）、昼食（お弁当、飲み物）、観戦チケット

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：10事業所

（ホットスペース中原、就労支援移行事業所あやめ、KFJ多摩はなみずき、川崎市わーくす高津、川崎市精神保健福祉センター、Kaizen川崎、高津区役所地域まもりセンター保護課、自立支援センター南幸町、Cocorport武蔵小杉Office、川崎市中部就労援助センター）

会場来場者数：各回約5,000人

参加者感想

- ・準備の大変さを学んだ。楽しかった。（40代女性／ホームレスの方）
- ・掃除をすると他人も気持ちよく、自分も気持ちいい。たくさんの人と挨拶をして、片付けの大切さを改めて感じた。（40代女性／ホームレスの方）
- ・現場で働く人の大変さ、お金を稼ぐ事の大変さを学んだ。この体験で確実に自信がついたと思う。（20代女性／引きこもりの方）
- ・就労の大変さを学んだ。体調管理に気を付けるようになった。（20代男性／引きこもりの方）
- ・やはり、対価を得るとということは利用者さんのモチベーションを上げ、心を豊かにする。表舞台で活躍することが全てではなく、そこには、色々な人たちの想いやサポートがあることを学んだと思う。（30代女性／施設職員）
- ・いつもながら大変有意義だと思った。（30代男性／施設職員）



10月27日 カワサキ ハロウィンパレード就労体験

株式会社チッタ エンタテインメント様のご協力の下、国内最大級規模のカワサキハロウィンパレードにて、就労体験を実施。今回は、川崎市内の精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々も参加し、述べ17名（就労体験者：13人、支援者：4人）の方々の就労体験をコーディネート。パレード最後尾でおそうじNPO「グリーンパード」と共にパレードルートのゴミ拾いを行った。また、約12万人の観客、約2,200人の参加者が集まる国内最大級のハロウィンパレード『カワサキハロウィンパレード』に参加する参加者（車いすユーザーなど）のアテンドを行った。車いすユーザー54名（うち同行者34名）、ダウン症ダンスチーム52名（うち同行者27名）の合計106名がパレードを楽しんだ。

実施日：2019年10月27日(日)

会場：川崎駅前周辺

参加人数：17人（利用者：13人、支援者：4人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：4人

支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社チッタエンタテインメント

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：4事業所

（KFJ多摩はなみずき、ホットスペース中原、LITALICOワークス川崎駅前南センター、川崎市百合丘就労援助センター）

会場来場者数：120,000人

<参加者感想>

- ・笑顔で過ごせた。（20代男性／知的障害者）
- ・道路を歩いたのでプレミア感があった。（40代男性／知的障害者）
- ・みんなに声をかけられた。自信になった。（40代女性／身体・知的障害者）
- ・動きっぱなしの就労体験もなかなか無いので、自分の体力、集中力を知るのいい機会だったと思う。（20代男性／施設職員）
- ・仕事の種類・選択肢が増えたり、仕事に対する姿勢、他の作業所の方の働き方を学ぶ機会になった。（40代女性／施設職員）



11月2日、30日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、11月2日、30日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもりの方々が述べ 13人（利用者：10人、施設職員：3人）参加した。開場前に、スタジアム内の座席拭きを行い、開場後から試合開始前までは、新スタジアム側の4ヶ所のゴミ回収場所にて、他運営スタッフと共にゴミ回収のサポートを行った。

実施日：2019年11月2日(土)、30日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：13人（利用者：10人、施設職員：3人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりのボランティアスタッフの人数：1人

支給物：交通費（2,000円/人）、観戦チケット（自由席）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

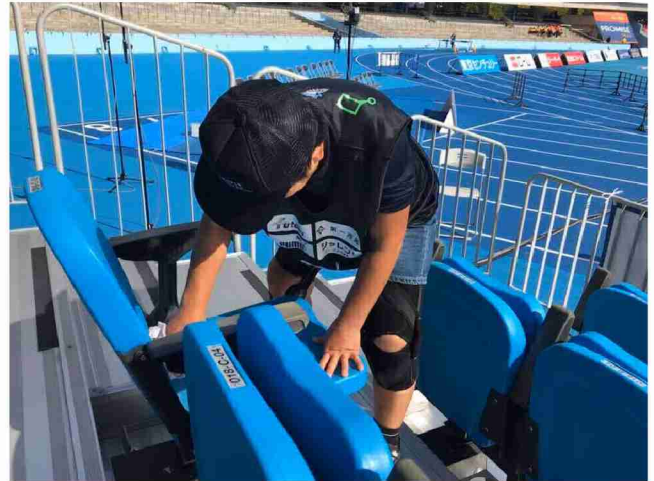
参加事業所：5事業所

（ホッとスペース中原、就労支援移行事業所あやめ、川崎市南部就労援助センター、Cocorport川崎Office、川崎若者就労自立支援センター ブリュック）

会場来場者数：47,803人（11/2 23,910人、11/30 23,893人）

参加者感想

- ・就労体験に参加して、仕事する仲間との協調性と接客等のコミュニケーションを学んだ。お仕事する方達と協力しあってできるようになってきていると思う。今後も様々な就労体験をしたい。（40代女性/身体・発達障害者）
- ・私が机を拭いていた時に、横にいた他の参加者の人が机の淵を拭いたのを見て「あ、そこも拭くのか」と思い勉強になった。他の人と協力して、作業を行う大切さを知ることができた。体を動かして作業を行う事が楽しかった。（10代男性/知的・発達障害者）
- ・就労体験する事で、利用者さんに合う仕事のイメージが深まったと思う。（40代女性/施設職員）



11月9日、10日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、11月9日、10日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々、述べ32人（利用者：25人、施設職員：7人）が参加し、競技場内にて、プログラムや応援グッズ配布、会場設営、清掃のお仕事を担って頂いた。

実施日：2019年11月9日(土)、10日(日)
会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：32人（利用者：25人、施設職員：7人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：2人
支給物：交通費（2,000円/人）、昼食（お弁当、飲み物）、観戦チケット

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：6事業所

（ホットスペース中原、就労支援移行事業所あやめ、精神障がい者就労移行支援センターかわさき@Job、Cocorport武蔵小杉Office、川崎市精神保健福祉センター、川崎市中部就労援助センター）

会場来場者数：各回約5,000人

参加者感想

- ・コミュニケーションの大切さを学んだ。自分に向いていること、出来ないこと（向いていないこと）が分かった。やったことを褒めてもらったのが嬉しかった。（50代男性／精神障害者）
- ・チームワークの大切さと、接客の際のタイミングを学んだ。試合会場のバックヤードの仕事は、ファンの方と一緒に活動するような仕事なのかなと思った。バスケットボールの試合会場を初めて見たので、色々勉強になった。（50代男性／精神障害者）
- ・次回も就労体験があったら参加したい。就労体験は気がまぎれるので、よかった。（40代女性／発達障害者）
- ・人が喜んでるところを見て、嬉しかった。楽しさと感謝を学んだ。最初は不安だったが、何とか頑張ってきたと思った。（20代男性／知的障害者）
- ・みんなで目標や仕事を共有する楽しさを学んだ。人と接することはそれほど難しいことではないと感じた。（20代女性／引きこもりの方）
- ・時間管理の大切さを学んだ。将来どのような仕事に就きたいかより考えるようになった。（30代男性／引きこもりの方）
- ・5時間、体を動かして動くことで、就労に向けてどれくらいの体力が必要か、気づきの機会となった。運動時間・方法、ストレッチなども学べたと思った。支援者としてはアセスメントを多く得ることができた。（40代男性／施設職員）
- ・実際に長時間、体を動かすことの大変さ、あいさつの大事さ、コミュニケーションの必要性を学べたと思う。（30代男性／施設職員）



12月7日、8日、11日、28日、29日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、12月7日、8日、11日、28日、29日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。

今回は同市内精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々、述べ50人（利用者：37人、施設職員：13人）が参加し、競技場内にて、プログラムや応援グッズ配布、会場設営、清掃、ゴミの分別案内や回収、撤去のお仕事を担って頂いた。

実施日：2019年12月7日(土)、8日(日)、11日(水)、28日(土)、29日(日)
会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：50人（利用者：37人、施設職員：13人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：4人
支給物：交通費（2,000円/人）、昼食（お弁当、飲み物）、観戦チケット

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：10事業所

（就労支援移行事業所あやめ、川崎市精神保健福祉センター、川崎市中部就労援助センター、就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎センター、KFJ多摩はなみずき、自立支援センター南幸町、川崎市百合丘就労援助センター、Cocorport武蔵小杉Office、プライベートむさし小杉、川崎若者就労自立支援センター ブリュック）

会場来場者数：各回約5,000人

参加者感想

- ・社会に属することの楽しさを少し理解した。外に出て仕事をする楽しさを感じるようになった。（20代女性/引きこもりの方）
- ・大声を出すことができるかと学んだ。またブレイブサンダースの仕事をやりたい。（30代男性/知的障害者）
- ・多少自信がついてきた。（20代男性/引きこもりの方）
- ・他事業所の方の仕事の仕方や、協力していくことを学んだように思う。定期的に参加することで、自信、積極的に取り組む気持ちに繋がっていくと感じた。（40代女性/施設職員）
- ・利用者さんが、複数人のチームで働くことに対してのイメージがついたように思える。体力や働くイメージ以外にも、指示理解のアセスメントを取ることができた。（40代男性/施設職員）



1月5日、24日、25日、31日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、1月5日、24日、25日、31日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。

今回は同市内精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々、述べ48人（利用者：33人、施設職員：15人）が参加し、競技場内にて、プログラムや応援グッズ配布、会場設営、清掃、ゴミの分別案内や回収、撤去のお仕事を担って頂いた。

実施日：2020年1月5日(日)、24日(金)、25日(土)、31日(金)

会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：48人（利用者：33人、施設職員：15人）

**参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：1人**

支給物：交通費（2,000円/人）、昼食（お弁当、飲み物）、観戦チケット

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

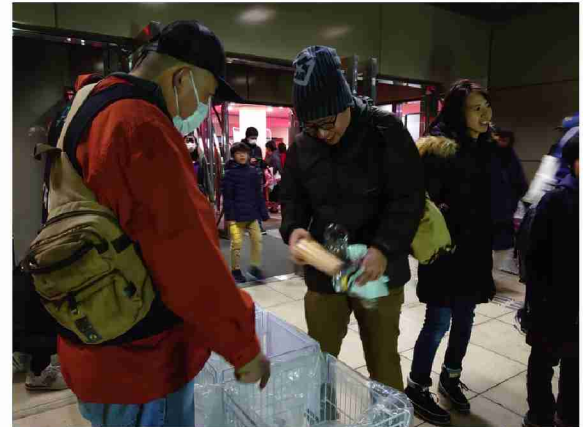
運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：11事業所（就労支援移行事業所あやめ、セルフきたかせ、KFJ多摩はなみずき、川崎市高津区役所 地域みまもり支援センター保護課、川崎市わーくす高津、川崎市発達障害支援センター、就労移行支援ミラトレ川崎、川崎市生活自立・相談センターだいJOBセンター、川崎市百合丘就労援助センター、川崎市百合丘障害者センター、川崎市中部就労援助センター）

会場来場者数：各回約5,000人

参加者感想

- ・慣れてくると人数が少なくても、作業ができることが分かった。お客様に不愉快な思いを絶対にさせないことを意識してやっている。今後もお客様に快適に過ごしていただくために、色々と努力していきたいと思う。（40代男性／精神障害者）
- ・ごだわりがなくなってきた感じがする。時間を読んで移動すること、あいさつの仕方で他者とのコミュニケーションがよくなることを学んだ。（30代男性／精神障害者）
- ・外部の方とコミュニケーションを取る経験になった。（30代男性／施設職員）
- ・就労体験前はモチベーションが低かったが、帰るときは表情が変わっていた。（40代女性／施設職員）
- ・いつもと違う環境でも、又対応する人が変わっても、問題なく仕事をする事ができた。大きな音が嫌いだと耳を塞ぐことなく仕事をできてよかったと思う。（40代女性／施設職員）



1月23日 ピープルデザインシネマ2020就労体験

川崎市人権・男女共同参画室と連携し、中・高校生の方々やそのご家族に向けた映画上映イベント&トークショーを実施。このイベントは、LGBTやマイノリティの方々をより身近に感じ、親子や子ども同士でその理解を深め、お互いを尊重しあえる機会にすることを目的に開催した。上映作品はLGBTをテーマにした大ヒット映画、「帰りの道」。上映前後には、ゲイをカミングアウトしている小学校教諭「シゲ先生」鈴木茂義さんをゲストにお招きしてのトークショーや、東京・亀有にある子どものための愉快的図書館「絵と言葉のライブラリー ミッカ」による、絵本「Red」の朗読も開催。加えて当日は、川崎市内の障害者の方々の「就労体験プロジェクト」と「短時間雇用プロジェクト」も実施。障害のある方が普段の“もてなされる側”から、“もてなす側”になり、会場運営スタッフとして来場者の皆様をお迎えした。

実施日：2020年1月23日（木）
会場：チネチッタ チネ10

参加人数：9人（利用者：7人、施設職員：2人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：2人
支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>
業務依頼・運営企業：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所
参加事業所：2事業所
（川崎市百合丘就労援助センター、川崎市わーくす高津）

会場来場者数：200人

参加者感想

- ・どんな仕事に就いても、他者とのコミュニケーションが必要であるといった学びがあると感じた。（30代男性/施設職員）
- ・楽しかった。（40代男性/身体・知的障害者）
- ・色んな仕事ができるようになった。（20代男性/知的障害者）
- ・時間を見て意識して、時間に間に合うことの大切さを学んだ。就労体験参加後、お金の使い方に気を付けるようになった。また、もっと社会で働きたいと思うようになった。（20代女性/知的障害者）
- ・新しい経験ができた。夜まで働くことで、長い時間働くことができるという自信になった。（30代男性/施設職員）



主催：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所
共催：川崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会
協賛：株式会社 チッタ エンタテインメント
アルファ ロメオ（FCAジャパン株式会社）
協力：チネチッタ
NPO法人レインボー・リアル東京、
株式会社STJレンテック

1月25日 第250回 身体で聴こう音楽会 就労体験

川崎市国際交流センターにて開催された、パイオニア株式会社様主催「第250回 身体で聴こう音楽会」にて、就労体験を実施。「身体で聴こう音楽会」 (<http://pioneer.jp/.../society/cont.../music/karadadekikou/about/>) は、聴覚に障害をお持ちの方の「音楽体験の場」として、その方に音を振動で伝えるパイオニア様の“体感音響システム”を使ったコンサート。1972年からスタートし、累計開催回数は今回で250回目。このイベントに同市内精神障害者の「就労体験」をコーディネートし、述べ8人（利用者：5人、施設職員：3人）の方々が参加した。

開場前には、パイオニア株式会社のスタッフの方々と共に、体感音響システムの設置、受付のプログラムのセッティングを行った。開場後は、受付でお客様をお出迎えし、プログラムを配布。会場内では体験音響システムのご案内を行った。

実施日：2020年1月25日（土）

会場：川崎市国際交流センター

参加人数：9人（利用者：6人、施設職員：3人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）、昼食（お弁当、飲み物）

<関連団体>

業務依頼企業：パイオニア株式会社

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：2事業所（川崎市百合丘就労援助センター、セルブきたかせ）

会場来場者数：200人

参加者感想

・小さな作業でもちゃんと仕事していることや、動く場として実際に自分が参加して、たくさんのことを学べた。挨拶や態度はとても大事なことだと思った。仕事して楽しかった。

（20代女性／精神障害者）

・笑顔や声の大きさを意識できた。とても楽しく、また来たいと思った。

（10代女性／精神・発達障害者）

・（利用者さんの）体力、他者との交流の様子を見るために参加した。チームワークについて学びがあったように思う。（40代女性／施設職員）

・センター実習までの待機中で就労の経験を積んでもらうため、参加してもらった。持ち場が数か所あり、色々な経験ができた。（30代女性／施設職員）



2月1日、15日、16日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、2月1日、15日、16日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。
今回は同市内精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々、述べ18人（利用者：13人、施設職員：5人）が参加し、競技場内にて、プログラムや応援グッズ配布、会場設営、清掃、ゴミの分別案内や回収、撤去のお仕事を担って頂いた。

実施日：2020年2月1日(土)、15日(土)、16日(日)
会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：18人（利用者：13人、施設職員：5人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：1人
支給物：交通費（2,000円/人）、昼食（お弁当、飲み物）、観戦チケット

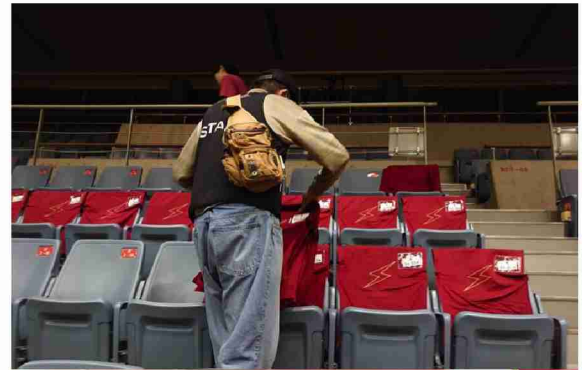
<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）
運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所
参加事業所：3事業所（れいんぼう川崎、就労移行支援事業所あやめ、川崎市精神保健福祉センター）

会場来場者数：各回約5,000人

参加者感想

- ・色々な人とのコミュニケーションが大切なことを学んだ。自信になった。（30代男性/精神障害者）
- ・挨拶することで、色々なコミュニケーションがとれることを学んだ。（40代男性/精神障害者）
- ・体験を通じて、些細なことも、やらないのでは違うんだなと知った。少しずつ意識が外に向くようになってきた。（20代男性/ひきこもりの方）
- ・新しいことに挑戦しようと思って参加した。たくさんの方が関わってイベントを作っていることを学んで勉強になった。働く大変さを知って、かなり大変だったが、自分にとってプラスになったと思う。（20代男性/ひきこもりの方）
- ・自分に合っている就労が何であるかを確認するため
- ・当日までに体調を整えてくることの大切さを学んだ。（30代男性/精神障害者）
- ・基本、（体験者さんは）外に出る機会が少ない人たちの為、就労体験の日は一日を通して沢山の気づきや刺激を受ける機会となり、良い学びの場となっている。（30代男性/施設職員）
- ・仕事として「働く」という意識、人が多くいる中で慣れるという体験ができて（利用者さんの）学びとなった。（40代男性/施設職員）



2月16日、22日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、2月16日、22日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもりの方々が述べ13人（利用者：10人、施設職員：3人）参加した。開場前に、スタジアム内の座席拭きを行い、開場後から試合開始前までは、来場特典グッズの配布や、新スタジアム側の4ヶ所のゴミ回収場所にて、他運営スタッフと共にゴミ回収のサポートを行った。

実施日：2020年2月16日(日)、22日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：13人（利用者：10人、施設職員：3人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（2,000円/人）、観戦チケット（自由席）

＜関連団体＞

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：2事業所

（川崎市百合丘就労援助センター、就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎駅前南センター）

会場来場者数：38,174人

（11/2 17,057人、12/22 21,117人）

参加者感想

- ・ 仕事の世界を知ることができた。（10代男性／発達障害者）
- ・ 色々な経験をしたいと参加した。お客さんと接する機会があり、一人ひとりに親切に感謝する気持ちをもって接することの大切さを学んだ。人と接するのは、面倒な中にも楽しさもあると気づいた。楽しく体験できた。（40代男性／知的・精神障害者）
- ・ （利用者さんの）就労イメージの為に参加した。お客様とのかかわりを感じてもらえたと思う。（40代男性／施設職員）



中止となったプログラム数：10件

台風による水害の影響と、コロナウイルス感染拡大の為、実施予定であった以下プログラムは中止となった。

	日時	イベント	参加予定人数	場所	中止理由
1	2019年10月23日（水） 9:30～12:00	みぞのくちハロウィンパレード就労体験	7	マルイファミリー溝口店	水害によるイベント中止の為
2	2019年10月24日（木） 9:30～12:00	みぞのくちハロウィンパレード就労体験	7	マルイファミリー溝口店	水害によるイベント中止の為
3	2019年10月25日（金） 9:30～12:00	みぞのくちハロウィンパレード就労体験	7	マルイファミリー溝口店	水害によるイベント中止の為
4	2019年11月17日（日） 8:30～12:00	川崎国際マラソン就労体験	10	等々力信号付近（川崎）	水害によるイベント中止の為
5	2020年2月29日（土） 10:00～16:00	Bリーグ 川崎ブレイブサンダース就労体験	12	とどろきアリーナ	新型コロナウイルス感染拡大防止の為
6	2020年2月29日（土） 10:00～16:00	Bリーグ 川崎ブレイブサンダース就労体験	12	とどろきアリーナ	新型コロナウイルス感染拡大防止の為
7	2020年2月29日（土） 10:30～15:30	Jリーグ 川崎フロンターレ就労体験	7	等々力陸上競技場	新型コロナウイルス感染拡大防止の為
8	2020年3月1日（日） 12:00～16:00	Bリーグ 川崎ブレイブサンダース就労体験	12	とどろきアリーナ	新型コロナウイルス感染拡大防止の為
9	2020年3月4日（水） 10:00～16:00	Bリーグ 川崎ブレイブサンダース就労体験	12	とどろきアリーナ	新型コロナウイルス感染拡大防止の為
10	2020年3月4日（水） 14:30～19:30	Jリーグ 川崎フロンターレ就労体験	7	等々力陸上競技場	新型コロナウイルス感染拡大防止の為

全国普及に向けた他地域での実施報告@

神奈川県横浜市、島根県益田市
東京都渋谷区、東京都港区、東京都新宿区

2019/6/7 – 2020/3/10

実施期間 : **2019年6月7日～2020年3月10日**

実施自治体数 : **5箇所**

内訳
 神奈川県横浜市
 東京都渋谷区
 東京都港区
 東京都新宿区
 島根県益田市

実施企画数 : **15企画**

就労体験参加人数 : **64名**

参加企業・団体数 : **4社**

内訳
 株式会社横浜フリースポーツクラブ（横浜FC）
 日建総業株式会社
 NPO法人日本セルフセンター
 ZERO-1（プロレス団体）

参加ボランティア : **述べ8名**

参加事業所数 : **22事業所**

内訳

横浜市保土ヶ谷区生活支援センター
 社会福祉法人県央福祉会 ウィアー
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOフークス横浜都築
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOフークス横浜相模大野
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOフークス横浜海老名
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOフークス横浜関内
 社会福祉法人ぐりーんロード 障害福祉サービス事業所トロワランド
 NPO法人よりどりみどり みどり工房
 渋谷区障害者就労支援センター ハートバレー渋谷
 NPO法人ヒューマンケアクラブ ストライド
 （就労継続支援B型事業所 ストライドクラブ）
 NPO法人あさのはネットワーク ワークささはた

	日付	タイトル	就労体験者
1	6月29日	横浜FC就労体験	11
2	8月10日	横浜FC就労体験	4
3	9月3日	2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展	3
4	9月4日	2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展	2
5	9月5日	2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展	2
6	9月6日	2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展	2
7	9月7日	2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展	2
8	9月8日	2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展	2
9	9月9日	2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展	3
10	9月12日	就労支援フォーラム就労体験	3
11	10月4日	ダイバーシティ・パーク2019就労体験	7
12	10月5日	ダイバーシティ・パーク2019就労体験	5
13	10月6日	ダイバーシティ・パーク2019就労体験	2
14	10月6日	横浜FC就労体験	8
15	11月10日	ご縁の国しまねツアー2019益田大会（プロレス）就労体験	8
		他地域 参加人数	64

NPO法人はらっぱ ワーク&ショップ<はらっぱ>
 NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク JSN東京
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOフークス新宿南口センター
 新宿区立新宿福祉作業所
 社会医療法人正光会 松ヶ丘病院
 社会医療法人 正光会 さんさん牧場
 株式会社 きのごハウス きのごハウス
 特定非営利活動法人 コミュニティ益田 かまて
 益田市障害者福祉センターあゆみの里 レインボーハウス
 NPO法人 みなと障がい者福祉事業団
 就労移行支援事業所アビリティーズジャスコ田町センター

6月29日、8月10日、10月6日 横浜FC 就労体験 vol.16~18

NPO法人ピープルデザイン研究所がオフィシャル ソーシャルパートナーを務める、Jリーグ横浜FC様のホームゲームにて、地域の精神・知的障害者ならびにひきこもり、不登校の方々の就労体験をコーディネート。
今年で8年目、通算16~18回目となる今回は、横浜FC様の本社と練習場の所在地である、横浜市保土ヶ谷区内他の7施設より、述べ 31名（利用者：23名、施設職員：8名）の方々が参加。参加者には、球技場のメイン入口2箇所での入場客のお出迎えとプログラム・応援グッズの配布、ソフトドリンクの販売サポート、ハーフタイムの球技場内のゴミ回収を行った。

実施日時：2019年6月29日(土)、8月10日(土)、10月6日(日)
会場：ニッパツ三ツ沢球技場

参加人数：31人（利用者：23名、施設職員：8名）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：1人
支給物：交通費（2,000円/人）、お弁当・飲み物、休憩中の試合観戦

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社横浜フリエスポーツクラブ（横浜FC）
運営団体：NPO法人ピープルデザイン研究所
参加事業所：7事業所
（横浜市保土ヶ谷区生活支援センター、ウェア、就労移行支援事業所LITALICO
ワークス横浜都築・横浜相模大野・横浜海老名・横浜関内、障害福祉サービス事業所トロワランド）

会場来場者数：27,087人
（6/29 5,021人、8/10 10,586人、10/6 11,480人）



ご縁の国しまねツアー2019 益田大会（プロレス）就労体験

川崎市と交流都市である島根県益田市にある「萩石見空港」の空港利用促進をきっかけに、障害者の交流として就労体験を実施。会場設営から配布物のアッセンブリ、チケットもぎりや配布物の配布などで、運営スタッフとして運営サポートを担って頂いた。

実施日：2019年11月10日(日)
会場：島根県益田市 益田市民体育館

参加人数：11人（利用者：8人、施設職員：3人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：0人
支給物：交通費（2,000円/人）、観戦チケット

<関連団体>

業務依頼団体：島根県
運営団体：NPO法人ピープルデザイン研究所
参加事業所：4事業所（社会医療法人正光会 松ヶ丘病院、社会医療法人 正光会
さんさん牧場、株式会社 きのこハウス きのこハウス、特定非営利活動法人 コミュニティ益田 かまて、益田市障害者福祉センターあゆみの里 レインボーハウス）
会場来場者数：約800人



9月3日～9日

「2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展」就労体験

弊社主催、渋谷区他共催のイベント「2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展」にて来場者をもてなす就労体験を実施。区内の知的・精神障害者の方々には、メイン会場となった渋谷ヒカリエで、来場者を最前線でお迎えいただき、加えて会場案内や受付、パンフレット配布、物販業務を運営スタッフとして担っていただいた。

実施日時：2019年9月3日(火)～9日(月)

会場：渋谷ヒカリエ 8階 8/COURT・CUBE

参加人数：22人(利用者：16人、施設職員：6人)

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：3人

支給物：交通費(2,000円/人)、軽食

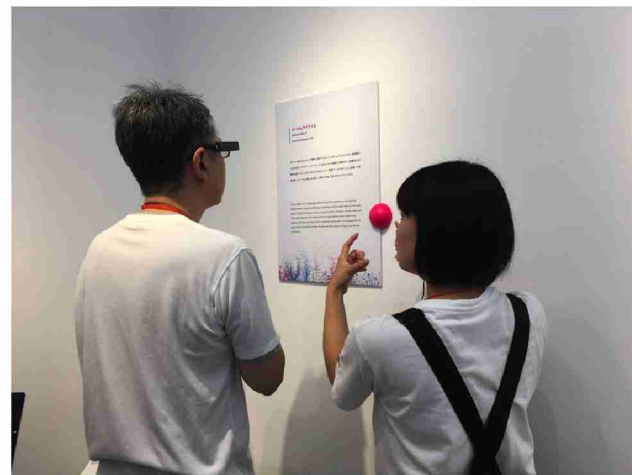
<関連団体>

業務依頼・主催：NPO法人ピープルデザイン研究所 / 共催：渋谷区 他

参加事業所：5事業所

(みどり工房、渋谷区障害者就労支援センター ハートバレー渋谷、就労継続支援B型事業所 スライドクラブ、ワークささはた、ワーク&ショップはらっば)

会場来場者数：述べ75,100人



10月4日、5日、6日 ダイバーシティパーク2019就労体験

新宿では、今回で4度目となる、新宿中央公園にて開催された『ダイバーシティパーク2019』にて、来場者をもてなす「就労体験」を実施。4日は備品運搬やテント設置などの会場設営、5日・6日は本部受付のサポート、パンフレットの配布・ご案内、キッズエリアなどで運営スタッフとして運営サポートを担って頂いた。

実施日時：2019年10月4日(金)、5日(土)、6日(日)

会場：新宿中央公園

参加人数：17人(利用者：14人、施設職員：3人)

**参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：4人**

支給物：交通費(2,000円/人)、昼食(イベントで使用できるチケット)

<関連団体>

業務依頼企業：日建総業 株式会社

運営団体：NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：3事業所

(JSN東京、就労移行支援事業所LITALICOワークス新宿南口センター、新宿区立新宿福祉作業所)他、個人参加者

会場来場者数：述べ10,000人



就労支援フォーラム就労体験

NPO法人日本セルフセンターからの依頼で、港区にある品川インターシティホールでの就労体験をコーディネート。最寄りの品川駅から会場までの案内を運営スタッフとして担っていただいた。

実施日：2019年9月12日(木)

会場：品川インターシティホール

参加人数：5人（利用者：3人、施設職員：2人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）、観戦チケット

<関連団体>

業務依頼団体：NPO法人日本セルフセンター

運営団体：NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：2事業所（NPO法人 みなと障がい者福祉事業団、就労移行支援事業所アビリティーズジャスコ田町センター）

会場来場者数：約200人

